

御影北部あんしんすこやかセンター

令和5年度の御影北部あんしんすこやかセンター事業運営状況について、下記の通り報告します。

1 令和5年度総括

○ 御影北部圏域の概要

御影北部圏域の高齢者人口は4430人、高齢化率が25.0%、高齢者数は37人増であり、御影郡家2丁目、鴨子ヶ原3丁目の高齢化率が30%を超えています。介護予防プラン管理数については、年間2950件で、前年比103.2%です。センターの主な事業である相談対応件数は1719件で、新規相談は947件となっています。

○ センター事業目標について

あんしんすこやかセンターの事業目標については、令和3年度からの長期目標（3年間）は、「地域住民が各地区の福祉課題を共有し、相談しあえるようになる。」でした。

令和5年度の短期目標としては、以下のとおりです。

（鴨子ヶ原）

鴨子ヶ原地区の課題について、住民が地域交流会議にて情報交換を行う。

（御影、御影郡家）

サロン形式の相談会や出張相談会に参加することにより、地域住民が相談しやすくなる。認知症サポーター養成講座を開催し、地域の店舗や事業所が認知症についての理解を深める。地域ケア会議等を開催し、認知症の課題について連携を図っていく。

（御影山手）

御影山手地区の住民がセンターを身近に感じ、相談しやすくなる。

コロナ禍の中、地域住民がフレイル予防に取り組めるようになる。

としました。

実施結果としては、

（鴨子ヶ原）

地域ケア会議を4月と9月に開催しました。4月の議題は「鴨子ヶ原地域の認知症に関する現状と課題、集いの場について」とし、えがお喫茶や元気アップクラブの再開、地域での見守りの現状と課題などについて意見交換、情報共有しました。9月は「鴨子ヶ原地域の『認知症と防災』について」というテーマで、認知症疾患医療センター職員からアドバイスを頂き、参加者と共に課題についての情報共有、意見交換などを行いました。

（御影・御影郡家）

地域ケア会議を7月に開催しました。「認知症のある支援困難事例（模擬事例）」を通して成年後見制度の情報など意見交換、情報共有、学びを深めることができました。

10月に個別対応の相談会、7月と2月にイベント形式の相談会を開催しました。個別相談では認知症家族などからの相談に対応しました。7月はあんしんすこやかセンターの紹介や介護保険の仕組みなどについての説明を行いました。2月は東灘区薬剤師会から3名の薬剤師が来られ、「フレイルについて・災害時の簡易なトイレの作り方など」の講話の後にフレイル

チェックがあり、参加者には好評でした。何れも個別相談にも応じました。

11月には認知症サポーター養成講座を開催しました。ハイブリッド形式で10名参加のうち1名のオンライン参加がありました。

(御影山手)

10月にフレイル予防教室を開催し、フレイル改善通所サービスにつなげることができました。

(その他)

平成27年度に鴨子ヶ原にある特別養護老人ホーム友愛苑内に御影北部あんしんすこやかセンター開設以降、地域住民（御影、御影郡家、御影山手）より、センターが遠くなったとの苦情があります。地域ケア会議においても課題となり、「御影相談会」「まちかど相談」の開催などにつなげて参りました。

地域としては、不便であることから、東灘区長に要望などが入っており、令和4年度に御影北ふれあいのまちづくり協議会メンバーとの話し合いを行いました。そこで、地域住民にとってセンターの場所が遠く相談しづらい、高齢者の総合相談窓口として身近な存在になってほしい等のご意見を頂きました。遠方であるとの課題は今後も継続していきます。センター職員としては、地域住民の気持ちに寄り添い対応していかなければならないと常に感じています。

○ 神戸市によるセンター運営評価について

令和5年7月にありました。令和5年1月～4月まで主任ケアマネジャーが不在であったため、令和5年度、令和6年度は不適項目があります。

主な事業実績については以下の通りです。

2 令和5年度利用状況について

(1) 介護予防支援事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防給付	167	174	176	179	172	171	167	158	160	158	156	160	1998
総合事業	84	72	72	69	77	82	77	92	84	80	83	80	952
合計	251	246	248	248	249	253	244	250	244	238	239	240	2950
新規加算	5	5	9	4	2	7	7	6	4	7	6	3	65
前年比%	102.0	103.4	103.8	106.9	106.4	108.6	102.5	102.0	98.4	99.6	100.8	103.4	103.2

(2) 相談対応件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合相談	187	170	245	228	308	227	374	293	275	261	185	279	3032
介護予防	338	312	358	306	316	364	328	334	314	347	354	348	4019
権利擁護	13	11	14	4	21	5	2	12	7	3	3	5	100
ケアマネ ジメント 支援	84	91	95	87	81	66	129	90	99	115	46	99	1082

地域 支えあい	19	8	9	11	33	13	32	18	35	17	9	48	252
認定申請	19	23	22	20	19	22	15	33	29	21	18	22	263
その他	1	80	351	26	21	90	161	202	38	116	44	561	1691
合計	661	695	1094	682	799	787	1041	982	797	880	659	1362	10439
前年比%	114.0	115.6	147.2	111.6	124.1	137.8	137.2	157.1	125.3	134.4	85.9	191.8	132.0

(3) 地域ケア会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催数	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
参加人数	13	0	0	14	0	16	0	0	0	0	0	0	43

(4) 広報啓発の内介護予防普及啓発に関すること

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催数	3	3	3	5	3	4	6	4	5	6	4	5	51
参加人数	118	74	52	56	22	64	198	88	55	129	76	99	1114

(5) 介護リフレッシュ教室

	1	2	3	4	5	6	合計
開催日	6/17	7/19	9/20	11/15	1/17	2/27	6
参加人数	21	5	8	5	7	16	62

3 職員体制

主任ケアマネジャー	1名
社会福祉士	1名
看護師	1名
地域支えあい推進員	1名
介護予防支援担当ケアマネジャー	2名

5月に友愛高齢者生活支援センターより、主任ケアマネジャーが異動し、職員を確保しました。

4 令和5年度事業実施状況について

(1) 職員研修の実施について(職員資質向上)

センター内では、職員資質の向上と情報共有を目的に、月1回センターミーティング・ケース検討会議で困難事例を検討しました。また、センターや行政主催で会議や研修、法人内及び法人外研修には30回延べ45名の職員が参加しました。主な内容は以下の通りです。

1) 神戸市・東灘区及びあんしんすこやかセンターが主催する主な研修

日 時	会 議 内 容	出務職員
5/1	センター職員新任者研修（神戸市）	大出
7/6	神戸市高齢者虐待対応研修（初任者向け）	笹部・大出
7/6	ACP の理解を深める研修	大出
7/26	神戸市認知症疾患センター合同研修会	笹部
8/23	神戸市認知症地域支援推進員研修	吉岡
8/26	令和5年度成年後見セミナー（神戸市・神戸市社協）	笹部
9/1	あんしんすこやかセンター運営管理者研修	伊賀
9/12	個別避難計画作成研修	大出
9/28	高齢者虐待研修	笹部・吉岡
10/23	東灘区高齢者虐待対応力向上研修	大出・山本
10/30	令和5年度高齢者虐待対応にかかわる研修	大出・笹部
11/29	口腔ケア研修	大出
12/15	令和5年度高齢者虐待対応にかかわる研修会	大出・笹部
12/26	神戸市介護予防・フレイル予防研修	大出
2/21	障害の理解を深める研修	大出
3/13	令和5年度テーマ別研修全市発表会	笹部

2) 神戸市・東灘区及びあんしんすこやかセンター以外が主催する主な研修

- ①法人内研修 全職員 高齢者虐待防止及び個人情報保護研修受講
課長以上の役職者 コンプライアンス及び内部統制受講
職員 感染症・倫理・地域貢献・安全運転研修受講
災害対策委員会研修・クレーム対応研修

②法人外の主な研修

日 時	研 修 内 容	出務職員
5/26	令和5年度新任職員研修会（兵庫県地域包括協議会）	大出・笹部
8/31	令和5年度主任介護支援員スキルアップ研修	大出
12/15	ひきこもり相談支援実践研修	吉岡
1/11	介護支援専門員等への自殺予防研修	笹部
2/17	後見と医療の協力～本人の最善の利益のために～	笹部

(2) センター業務については以下の通り

- 1) 介護保険要介護・要支援認定申請代行
263 件の申請代行業務を実施しました。
- 2) 総合相談業務

総合相談支援事業は、地域の高齢者が、住みなれた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするため、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービス、機関または制度の利用につなげる等の支援を行いました。昨

年度と比べて 289 件増でした。

介護相談 1741 件 入所・退所相談 363 件 実態把握 144 件 介護保険外 142 件

3) 権利擁護業務

権利擁護事業は、地域の住民や民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは十分に問題が解決できない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から等の支援を行いました。昨年度と比べて対応件数が 100 件程度減少しています。

高齢者虐待 130 件 成年後見制度 32 件 措置 0 件 消費者被害 2 件

4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

包括的・継続的ケアマネジメント支援事業は、地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、介護支援専門員に対する後方支援や関係機関とのネットワーク構築による会議を行いました。ケアマネジメント支援については、昨年度より 200 件程度増加しています。

包括的・継続的ケアマネジメント支援 554 件

住吉北部・御影北部圏域内の事業所連絡会及び介護支援専門員情報交換会の開催

5) 困難事例対応

認知症や虐待等の困難事例に関して、ケアマネジャー等の担当者と随時カンファレンスを実施し、情報の共有を図り適切に対応しました。件数は昨年度より倍近く増加しています。

97 件

6) 介護予防支援業務

生活上さまざまな課題を抱える高齢者に対して適切な支援を行なうことにより、要支援・要介護状態の予防をし、高齢者の自立した生活の支援を行いました。昨年度と比べて微減です。

介護予防支援・介護予防ケアマネジメント 3,971 件

7) 地域見守り活動推進事業

高齢者が地域で安心して生活ができるよう、あんしんすこやかセンターの専門職とチームアプローチを図りつつ、地域住民間による見守りができるコミュニティづくりを支援するとともに、介護予防の推進を図りました。今年度も新型コロナウイルス感染症に留意した活動の支援となりました。

○ 主な会議とつどいの場の後方支援等

小地域地域支え合い連絡会 介護予防教室（御影北すまいる体操）など

○ 相談対応件数 190 件

8) 広報・啓発

地域住民、民生児童委員、関係機関等に対し、あんしんすこやかセンターの所在・役割等を広報・啓発を実施。特に、各自治会長のご協力により地域の全掲示板にセンターについての広報チラシを掲示させていただきました。今年度も地区によっては地域行事の再開が難しく、直接の広報啓発が難しい所もありましたが、すこやかレターの配布等、昨年度に引き続き実施しました。

広報対象人数 1,051人 パンフ配布数 1,051数

9) 包括的地域ネットワーク業務

東灘区やセンターが主催する研修やネットワーク会議、さらに地域が主催する会議に積極的に参加。さらに個別支援のための地域ケア会議を 回開催し、関係機関との連携に努めました。

センター主催の会議	会議数	4回	参加人数	40人
行政等が主催の会議	会議数	60回	参加職員数	71人
地域主催の会議	会議数	96回	参加職員数	128人

10) 介護予防普及啓発事業

高齢者及び介護保険事業者に対して介護予防に資する普及啓発を図ることを目的とする事業です。今年度は、感染症予防に留意し、「御影北すまいる体操」を毎月開催しました。6月は警報で中止しましたが、7月からは鴨子ヶ原地域の「元気アップクラブ」を再開しています。双方とも毎月新規参加者がおり、盛況になってきています。

11) 地域ケア会議の開催

地域ケア会議は地域包括ケアシステム（誰にでもやがて訪れる高齢期を安心して迎えるための地域づくり）を構築し、暮らしを豊かにするための話し合いの場であり、今年度も個別のケース会議と地域課題についての会議を年3回行いました。

12) 認知症地域支援推進事業

認知症の人の意見が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、①地域の実情に応じて医療機関、介護サービス事業所や地域の支援機関をつなぐコーディネーターとしての役割や②地域における認知症の人と家族への支援体制の構築を図りました。

兵庫県の「令和5年度認知症地域支援推進員具体的活動報告」の神戸市代表発表センターとなり（くじ引き）、発表致しました。

13) 認知症ネットワーク構築支援事業

鴨子ヶ原地域を拠点として認知症ネットワーク「笑顔をつなぐネットワーク会議」を開催し、5月から毎月「えがお喫茶」（認知症カフェ）を再開しました。11月には第50回を、58名の参加者と共にお祝いしました。

阪急駅前周辺の店舗（100件）に働きかけ、11月に「認知症サポーター養成講座」を開催し、10名の参加者にステッカーを配布しています。

14) 医療と介護の連携

平素から、総合相談のなかで医療、介護事業所とは頻繁に情報共有しております。

その中から、困難事例などの課題がある折は、個別の地域ケア会議やケースカンファレンスなどを開催しております。

また、認知症カフェには、認知症疾患医療センターのご協力を頂いております。

15) 介護者支援

在宅で介護されているご家族の方や地域の方々（見守り活動など）を対象に介護リフレッシュ教室を年6回開催しました。次年度は、日程、場所、内容など対象者に聴き取りながら企画運営していきます。

16) 法人における地域貢献事業開催支援

法人における地域貢献として、わくわくウォークラリーの開催を支援し、地域住民の皆さまに参加していただけるように企画運営や広報啓発活動をしました。

(3) 個人情報の保護と取り扱いについて

神戸市の運営基準に基づき、個人情報の保護に取り組みました。

(4) 神戸市への改善報告

適切な人員配置をすること報告しています。

(5) センターへの苦情

今年度はありません。

5 会議等

1【職員会議】

月1回開催し、月間予定の確認及び事業報告及び事業計画の進捗状況及び職種別の情報交換を行いました。

2【センターミーティング】

毎朝と必要時に開催し、新規相談ケースや虐待等支援困難事例、ネットワーク支援の在り方について検討を行いました。

3 法人内の会議に参加

【定例会議・衛生委員会・災害対策委員会・法人企画部マーケティング会議】に参加しました。

6 資金収支

別紙決算書の通りです。

7 その他 特になし。